

# 四糸金吾殿御返事

御書新版 1565 3行目〜6行目  
御書全集 1151 3行目〜6行目

## (八風抄)

賢人は、八風と申して八つのかぜ  
におかされぬを、賢人と申すなり。  
利い・衰え・毀れ・誉れ・称え・譏り・  
苦しみ・楽しみなり。おお心は、利  
いあるによろこばず、おとろうるに  
なげかず等のことなり。この八風に  
おかされぬ人をば、必ず天はまぼら  
せ給うなり。しかるを、ひりに主を  
うらみなんどし候えば、いかに申せ  
ども、天まぼり給うことなし。

## 通解

賢人とは、八風といって八つの  
風に侵されない人をいうのである  
。八つの風とは、利い・衰え・  
毀れ・誉れ・称え・譏り・苦し  
み・楽しみである。おおよその意  
味は、利益があつても喜ばず、衰  
えても嘆かないなどのことである  
。この八風に侵されない人を、必  
ず諸天は守護されるのである。  
それなのに道理にはずれて、  
主君を恨んだりすれば、どんなに  
祈つても、諸天が守護されること  
はないのである。